

小学校区：金沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
30~39 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児			少子化で、人数が少ないとは問題だとは思いますが、自宅からの距離を踏まえて子どもが苦にならない距離だと思い、家を建てたりしているので、どこかと合併したり、廃校になるのだけは避けてください。 親は共働きで、そこの学校がなくなってしまったりしたら、学校までの送迎なども困ります。
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	金沢小、台原中は廃校で良いと思います。	なし	なし
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生		賛成	
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	学校再編に関しては有識者だけではなく、実際に通う子供たちや保護者などの意見を参考に検討して欲しいです。私としては「習熟度制」の学校再編を希望しています。	子供たちの学習環境を一番に考え、健全な学校生活が送れるように、特にいじめ問題では必ずしも子供同士とは限らず、学校の先生が生徒をいじめるケースもあるので、絶対にそういう事が起きないように常に子供たちの精神面にも十分配慮してもらいたい。	今はともかく、コロナ感染拡大防止に最適な環境を心がけて欲しいです。そして、子供たちのささいな相談事、小さな意見にも気を配り、一人一人に合った、よく考えぬかれた適切なアドバイス・指導をお願いいたします。
80~89 歳	(未入力)	(未入力)	少子化に伴い小中学校では生徒数が減少しています。現在の台原中と金沢小を台原中に統合して、金沢小の場所を高齢者向けの場に利用させてもらえればと思います。		金沢小の一部を地域のコミュニティセンターに異動させてはいかがですか。
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生／小学生	再編スケジュールを見ると、「多賀南」はずいぶん遅いです。ギリギリクラス替えが出来ている範囲だからなのかと思いますが、2クラスのクラス替えは半分の子と一緒にほとんど意味がありません。台原中は部活も少なく、他校と合同でないと大会にも出られません。今、通っている子がかわいそうです。これでは私立の中学校に流れてしまい、ますます人数が減り、活気のある中学校生活にならない。早急に統合のグループにして下さい。	小中一貫教育も人数が多ければ有効です。ですが、少人数で、例えば、いじめがあった場合、その学校で9年間生活するのは子供は耐えられません。	・常陸太田のように、スクールバスを使うとか、自転車通学を検討して欲しい。台原中に通う子は、山側の子なので徒歩で、国道6号を渡り通学は難しい。 ・今通う子、もうすぐ中学生になる子に希望を持たせて下さい。
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生／小学生 ／未就学児	人口減少や少子化を背景に学校を減らすとは諦めともとれます。人口減少を問題視するのであれば、人口を増やすことを考えるべきではないでしょうか。 人口が減り続ければ市が衰退していく事は目に見えています。簡単にはいかないのですが、企業誘致等に雇用を増やす、子供が増えるほど減税される等、子育て世代への減税など、子供が増える方向への動きをしていただきたいです。学校すら遠い、今でも遠いのに、更に学区が広くなれば余計に子育てがしにくくなります。	小中一貫ということとは、6歳から14歳まで、人として基礎となるような大切な時間を同じメンバーの中で過ごすこととなります。温室な環境で過ごしてきて、15歳にもなって新しい環境で友達を作れと言われても勇気が出なくなってしまうのではないのでしょうか。慣れた地元の友達との狭い世界しか生きられなくなりそうです。日立から出る勇気も失うから人口流出を止められるかもという事でしょうか。そんな人間をつくる町で輝ける未来を感じません。	日立市として、どの様な未来を描いているのか不安になりました。

小学校区：金沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
60~69 歳	(未入力)	(未入力)	少子化、人口減の中で、学校教育の質の確保、財政負担の軽減といった面からも統合は急務。 統廃合に際しては、学校の歴史、卒業生数などではなく、校舎の築年、平地立地などを基準に考えるべき。	効率化の面からは評価できるが、9年間人間関係が固定されることの是非は慎重にあるべき。	安易にスクールバス等を提案すべきではない。今後は、コミュニティバス等も必要となるため、兼用を考えてはどうか。
80~89 歳	(未入力)	(未入力)	金沢小学校と台原中学校を一貫校に	人数	金沢幼稚園を養老通所へと 私は介護所 1日4時間週3ぐらいで働いています
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生	台原中学校も子供が年をおごとに減っています。 河原中学校の統合の時に台原も一緒に統合して欲しいです。児童数の推移を見ながらとかではないと思います。今だって部活、学校として陸上記録会ですら人数が少なく活躍することもなく、子供たちはかわいそうです。		団体競技は、学校対抗のスポーツもままならない今、統合を早めてほしいです。 頑張っている子供たちがかわいそうです。人が少なくて活動できない。
70~79 歳	(未入力)	(未入力)	行財政改革の一貫として、学校の再編は当然と考える。これを放置したら日立市の財政は維持不能になると考える。教育は効果的を狙うのが当然と言えるが、効率的を配慮するのも当然だろう。教職員の適正配置を考えるのも当然だろう。1人の教職員に多過ぎる児童・生徒になってもいけないが、少ないのも決してよいとは言えない。 要点は適正配置を目指すことに尽きると考えたい。教職員にきちんと適正・適切な研修・教育を行い能力向上を図るのも当然だろう。なはずだ。	必要に応じて実施したらよいだろう。 少子化が進むのは当然の成り行きだろう。色々の方策を考えるのは当然だろう。考えるのを休むのはよくない。考え続けるのは当然だろう。	(日立市の人口予測 2040年 2018年からマイナス40%なら10万人台もあり?要覚悟) ここまでまとめたご苦労などについては認める。 万難を排して前向きに結果的に前倒しになるよう、遅れることなく計画以上に前倒しできるよう進めて進んで欲しい。少子化は予想以上に早まると予測する。 油断することなく、着実に計画より前倒しになることを期待する。
70~79 歳	(未入力)	(未入力)	提示案は妥当な線と考える。早く実施して加速度的に進む少子化へ対応して欲しい。実施面での加速を切望する。	小学校間・中学校間での水平統合もあり。小中学校間での垂直統合もありと肯定的に考えている。走りながら(年単位で実施しながら)考えてもよいだろう。微調整は当然であるだろう。	少子化・高齢化・人口減少問題を含む日立市の課題を含め、総合的な計画策定が出発点であることを基本認識して欲しい。(十分認識して欲しいが、実行面からは感じ取れないと申し上げる。) その中の課題の1つが学校再配置であると考え、課題解決にあたって欲しい。今回の計画策定への努力は認める。しかし、まとめるのが遅い(時期の遅れ)その速度が遅い。行政がスピード感をもって対応して欲しい。少子化は当初の想定より、前倒しで、加速度的に進んで。想定より10年くらい早い目標設定するようにして欲しい。行政の方々より市民の方が進んでいる人達(私などその代表例だろう)が相当数おり、これらの人達の考え方を活用するなど開かれた運用をして欲しい。私は1985年には企業内で課題解決に取り組み始めていた。 スクールバス・通勤・通学バス・介護・買物バスなどの交通体系も将来課題として配慮要だろう。既課題とも言える。 日立市から人も減る、企業も去るそんなことも覚悟する必要がある。 私は日立・三菱の統合、日立化成売却、日立電線、日立金属の統合など先行して言い当てた。

小学校区：金沢小

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
20~29 歳	(未入力)	(未入力)	<p>学校の再編は、生徒数が減っている現状を踏まえるとやむを得ないと思う。学校を統合する際は、ただ単に学区を統合するのではなく、地理的状況・路線バスでの通学を想定した学区の再区分が必要である。例えば、私が住んでいる(通学していた)金沢小学校と埴山小学校を統合とした場合、山側団地内にある両校は、アップダウンの中で登校することになる。路線バスも直接結ばれている訳ではないので、乗り換え等も必要になってしまう。このような地区の場合、南北に統合するのではなく、東西ほうこうでエリアを形成すべきだと思われる。</p> <p>通学距離については、「小学校 3km・中学校 5km」を目安としているが、5km は少々遠いと思われる。日立市の地理的状況を考慮しても、中学校も 3~4km にしたほうがいいと思う。原則徒歩での通学とのことだが、路線バスでの通学も検討すべきである。</p> <p>1 クラスの人数についてですが、最大 40 人だと教室規模的に若干多いと思う。少人数制も視野に入れることも考えると、どの学年も教室の配列のバランスもいい 36 人 (37 人以上でクラスを増やす)が いいのではないだろうか。</p>	<p>小中一貫教育の導入は、前向きに考えてよいと思われる。私と同じゼミに所属する学生で、「小中学校の教育への取り組みへの地域による違い」について研究しており、第 2 回報告で、つくば市が 2009 年から導入されている小中一貫教育「つくばスタイル」について知った。その区分スタイルも、大半が 1 中学校と複数の小学校で構成されており、その区分を「学園」と呼んでいる。ほとんどの学校が施設分散型であり、今回の素案から、その形式を模倣したものだと感じた。</p> <p>施設分散型の場合、現状とあまり変わらないものなので、実施するなら施設一体型や施設隣接型が望ましい。</p>	<p>前述したが、遠距離での通学は路線バスでの通学を原則とすべきである。</p> <p>ICT 環境の整備・充実を目指すとのことだったが、小学校の時から現在でも言えることだが、教員が活用しきれていない場合を数多く目にしている。教員の ICT 教育も重視していかなくてはいけないと思う。また、タブレット端末の活用とのことだが、パソコン利用のほうを重視したほうがいいかと思う。</p>